

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (株式会社百々)
 介護事業所名 (グループホーム百々豊田)
 介護保険事業所番号 (2393000340)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

| | | |
|-----------|------------------|---------|
| 見守り機器について | ①見守り機器の導入 (予定) 日 | 2023年1月 |
| | ②介護ロボットの製品名 | 眠りスキャン |

| 通信環境整備時期 (予定) | インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数 | 購入日 (予定) | リースの契約期間 (予定) |
|---------------|----------------------|----------|---------------|
| 2023年1月 | 0台 | 2023年1月 | |

| |
|--|
| <p>(1) 事業概要及び整備スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (2023年1月) 通信環境整備 機器納品 ・ (2023年1月) 機器使用説明会実施 運用開始 |
| <p>(2) 通信環境整備により達成すべき目標 (導入後3年間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入居者様の安全・安心を確保 (転倒事故の削減) ・ 夜勤スタッフの心理的負担軽減 (離職防止等による介護人財確保) |
| <p>(3) 通信環境整備により期待される効果等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 覚醒状況が把握できることで、予見的な事故防止対応が可能になる。 ・ 覚醒状況が把握できることで、朝の起床時に個々に応じたフロア誘導が可能になる。 ・ 入居者様の健康状態を把握するうえで、貴重なデータを収集することが可能になる。 |

(4)適用を受けようとする補助率

3 / 4

(5) 補助率の3 / 4の要件の確認

※補助率3 / 4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

| | |
|--|---|
| ①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。 | ○ |
|--|---|

②見守りセンサーについて

| | | | |
|-------------|--------|--------|--|
| 今年度導入予定 | ○ | 既に導入済み | |
| 見守りセンサーの製品名 | 眠りスキャン | | |

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

| | | | |
|-----------|-------------|--------|---|
| 今年度導入予定 | | 既に導入済み | ○ |
| ICT機器の製品名 | iPhone iPad | | |

④介護記録ソフトについて

| | | | |
|-------------|-----------------|--------|---|
| 今年度導入予定 | | 既に導入済み | ○ |
| 介護記録ソフトの製品名 | ワイズマン すぐろくタブレット | | |

⑤従前の介護職員等の人員体制

(日勤帯) 1ユニット3名体制
(夜勤帯) 1ユニット1名体制

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

(日勤帯) 1ユニット3名体制 (増減なし)
(夜勤帯) 1ユニット1名体制 (増減なし)

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

従前の人員体制に変更はないが、業務効率化を促進し「働きがいのある職場づくり」を実現していく。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

負担軽減が実現することで、残業時間の削減やレクリエーション・傾聴等、入居者様とのコミュニケーション時間の拡充が期待できる。認知症高齢者に対するチームケアの質の向上へと繋げていく。
また、入居者様の健康状態を管理し、安全・安心な生活を確保していく。

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (医療法人財団愛泉会)
 介護事業所名 (老人保健施設愛泉館)
 介護保険事業所番号 (2854980001)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

| | | |
|-----------|------------------|---------|
| 見守り機器について | ①見守り機器の導入 (予定) 日 | 令和4年12月 |
| | ②介護ロボットの製品名 | 眠りスキャン |

| 通信環境整備時期 (予定) | インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数 | 購入日 (予定) | リースの契約期間 (予定) |
|---------------|----------------------|----------|---------------|
| 令和4年12月 | | 令和4年12月 | |

(1) 事業概要及び整備スケジュール

【事業概要】
 現在の事業所の通信環境では見守り器機・眠りスキャンのデータ収集ができず、器機を有効活用することができない。器機を導入するに当たり通信環境整備を行い安定的に見守り器機を使用できるようにする。
 【スケジュール】
 令和4年12月 眠りスキャン導入前に工事を実施

(2) 通信環境整備により達成すべき目標 (導入後3年間)

各居室からの器機のデータが途切れることなく収集できる。
 収集されたデータを蓄積し、介護の質の向上を図る。

(3) 通信環境整備により期待される効果等

離れた場所から利用者の状態をリアルタイムで確認することができる。
 利用者の状態をデータとして蓄積することができる。
 利用者の転倒等、予期せぬ行動を検知したとき迅速に介護従事者がアプローチすることができる。

(4) 適用を受けようとする補助率

3/4

(5) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

○

②見守りセンサーについて

| | | | |
|-------------|--------|--------|--|
| 今年度導入予定 | ○ | 既に導入済み | |
| 見守りセンサーの製品名 | 眠りスキャン | | |

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

| | | | |
|-----------|---|--------|---|
| 今年度導入予定 | ○ | 既に導入済み | ○ |
| ICT機器の製品名 | (新規) スマートフォン 富士通ARROWS BZ02 (現行) インカム 無線機 ICOM IC-4110 | | |

④介護記録ソフトについて

| | | | |
|-------------|-----------------|--------|---|
| 今年度導入予定 | | 既に導入済み | ○ |
| 介護記録ソフトの製品名 | 株式会社レゾナ i-MEDIC | | |

⑤従前の介護職員等の人員体制

20.5

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

19.5

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

見守りセンサーから得られた情報をスマートフォンで確認し、インカムを使用し介護従事者間で情報を共有を行う。
見守りセンサーの情報を介護ソフトにオンラインで取り込むことができるため、介護従事者が介護ソフトに入力することなく、情報共有、データの蓄積ができる。
介護従事者の業務の効率化を図ることができる。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

利用者の状態をリアルタイムでパソコン、スマートフォンで確認することが可能なため、居室への訪問回数を減らしながらも、利用者の転倒、予期せぬ行動を迅速に把握し対応することができる。
介護従事者の負担軽減と共に、利用者のプライバシーを守ることが可能となる。

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人瀬戸中央会)
 介護事業所名 (特別養護老人ホームつばき)
 介護保険事業所番号 (2372302568)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

| | | |
|-----------|------------------|-------------|
| 見守り機器について | ①見守り機器の導入 (予定) 日 | 平成30年11月9日 |
| | ②介護ロボットの製品名 | aams介護 (既設) |

| 通信環境整備時期 (予定) | インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数 | 購入日 (予定) | リースの契約期間 (予定) |
|---------------|----------------------|--------------|---------------|
| 令和4年12月下旬 | | 令和4年12月上旬に施工 | リース契約予定なし |

(1) 事業概要及び整備スケジュール

<事業概要>見守り支援ロボットaams (導入済) が円滑に機能する通信環境を整備することにより、業務の効率化を図り、介護従事者の負担軽減を図る。
 ※4年前にaams介護を導入したが、誤作動と端末の受信エラーが度々あり、業者に調査を依頼したところ、ネットワークシステムの更新整備と電波状況の安定化が必要であるとの提案を受けた。
 <整備スケジュール>令和4年12月初頭から2週間程度で整備、整備後現在使用している介護ロボットの動作確認実施、12月中に使用開始。毎月のリーダー会議にて経過報告を行う予定である。

(2) 通信環境整備により達成すべき目標 (導入後3年間)

・場所を選ばず館内のどこでも見守り機器が使用できる通信環境を整備することにより、看取り期や重篤時に自らメール発信できない入居者様の異状を介護従事者が端末等でキャッチし、事故のリスク軽減、データ分析に繋げることを目標とする。
 ・特に夜間介護従事者について、昼間よりも人員が少ないが、aams、モニターとしてのタブレット、通信環境の整備によって、見守り業務の負担軽減を目標とする。
 ・現在使用している記録システムと見守り機器が円滑に機能し、データ連携を推し進めることで記録業務の手間削減、更なる介護負担軽減を目標とする。

(3) 通信環境整備により期待される効果等

・通信環境整備により、コニット全体での見守り機器の活用が可能になる。
 ・見守り機器 (aams介護) では看取り期や身体状況の重篤な入居者様のバイタルデータをモニタリングでき、また異状なデータを感知するとアラームで警告することができるため、介護従事者の負担軽減となる。特にランオペが原則の夜勤者にとって、肉体的、精神的ストレスを軽減できることは有益である。
 ・コロナを含めて感染症罹患の恐れのある入居者様がある場合、見守り機器を安定活用できていると、看護職員介護職員の接触回数を減らすことができる。
 ・WiFiの無線アクセスポイントについて、かねて家庭向けのルーターを8台設置していたが、新設のルーターは5台以上でネットワーク構築が必要となる施設向けの機種を19台設置予定であり、性能も耐久性も飛躍的に向上する見込みである。またシステムの安定性を高めることは、セキュリティ機能強化に繋がり、マルウェア対策や情報漏洩防止にも役立つ。

(4)適用を受けようとする補助率

3/4

(5) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にする。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

○

②見守りセンサーについて

| | | | |
|---------|--|--------|---|
| 今年度導入予定 | | 既に導入済み | ○ |
|---------|--|--------|---|

| | | | |
|-------------|--------|--|--|
| 見守りセンサーの製品名 | aams介護 | | |
|-------------|--------|--|--|

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

| | | | |
|---------|---|--------|--|
| 今年度導入予定 | ○ | 既に導入済み | |
|---------|---|--------|--|

| | | | |
|-----------|------|--|--|
| ICT機器の製品名 | iPad | | |
|-----------|------|--|--|

④介護記録ソフトについて

| | | | |
|---------|--|--------|---|
| 今年度導入予定 | | 既に導入済み | ○ |
|---------|--|--------|---|

| | | | |
|-------------|-----------------------|--|--|
| 介護記録ソフトの製品名 | ワイズマン介護老人福祉施設管理システムSP | | |
|-------------|-----------------------|--|--|

⑤従前の介護職員等の人員体制
看取り時やコロナ罹患他、体調不良の著明な入居者様に対して介護職員を増やして対応

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制
上記のような場合でもモニターチェックによって人員増を要しない体制を企図している。

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

従前の見守り機器（aams介護）を利用した取り組みでは、wifi環境が脆弱であることによる通信の遅延や中断が起こる等の難点があった。また①介護記録ソフトとaams機器のモニターを同時に使用するには不便を伴う。②介護記録とモニターの機能は使い分けながらも、バイタルデータはシステム連動により自動で介護記録に保存したい。といった要望があった。そこで今回、事業費補助金を活用することで通信環境を整備し、従前からの見守り体制の弱点を補強すると同時に、バイタルサインデータの自動登録に繋げたい。上記の取り組みによって7月度施設の全ユニット平均で5.25人の配置人員を職員の自然減に伴う調整によって、まずは5.0人で安定的に運営できるようにしたい。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

当施設では、もっぱら看取り期や、重篤な状態にある入居者様に特化して見守り機器を使用しており、したがって平常時以上に、絶え間なく容体観察を行うことが求められる。しかしながら上記のような理由により、通信環境の信用度が当初期待したほど高くはなく、職員各員はそのぶん、過重な重圧の中で介護に務めている現状である。今回導入支援事業により通信環境整備を推し進めることができれば利用者のケアの質の向上が期待でき、同時に職員の負担軽減に資することができる。具体的には看取り期において、絶えず目が離せない状況の中でも、手元のパッドをモニターとしてバイタルデータを把握できるので、安心して休憩を取ることができる。

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人 十和の会)
 介護事業所名 (にじいろあすなろ)
 介護保険事業所番号 (2397500071)
 サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設)

| | | |
|-----------|------------------|----------|
| 見守り機器について | ①見守り機器の導入 (予定) 日 | 令和5年2月1日 |
| | ②介護ロボットの製品名 | 見守りライフ |

| 通信環境整備時期 (予定) | インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数 | 購入日 (予定) | リースの契約期間 (予定) |
|---------------|----------------------|----------|---------------|
| 令和5年2月1日 | | 令和5年2月1日 | |

(1) 事業概要及び整備スケジュール

入居者様の状態に合わせた設定でスマートフォン、タブレット端末等に発報させると共に、複数人のリアルタイムな状態を表示できる見守り機器を導入し、入居者様の生活の質の向上や夜間帯職員の精神的負担軽減を図ることを目的としたセンサー導入を検討しているが、入居者様の状態変化や入退居に伴いセンサーを導入させる居室が変更になる。そのため、施設内全体、入居者様の個室内まで届くWi-Fi設備を整備することにより、安定的に見守り機器を使用できるようにしていく。
 交付決定後速やかに契約を行い、工事を実施。(令和5年2月の整備時期予定とする)

(2) 通信環境整備により達成すべき目標 (導入後3年間)

現在、Wi-Fi中継器1台設置しているが、設置場所から遠い居室において不安定な電波となることが多い。今後は、不安定な電波となることなく、入居者様の状態を把握することにより、入居者様の生活リズムの把握や入居者様の意向にあわせた支援が行え、転倒転落等の事故防止と減少を目指す。

(3) 通信環境整備により期待される効果等

- ①入居者様の転倒事故の軽減
- ②入居者様の睡眠リズム把握によるサービスの向上
- ③看取り期の方の状態変化の把握
- ④介護職員の身体的、精神的負担の軽減。
- ⑤転倒転落事故の減少、見守りに関する業務の負担軽減されることにより、介護職員が安心して勤務に従事でき介護業務の軽減により、離職の防止。

(4) 適用を受けようとする補助率

3/4

(5) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
 ※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
 （厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

○

②見守りセンサーについて

| | | | |
|-------------|--------|--------|--|
| 今年度導入予定 | ○ | 既に導入済み | |
| 見守りセンサーの製品名 | 見守りライフ | | |

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

| | | | |
|-----------|----------------------------|--------|---|
| 今年度導入予定 | | 既に導入済み | ○ |
| ICT機器の製品名 | アップルWi-Fi 32G 10.2インチ iPad | | |

④介護記録ソフトについて

| | | | |
|-------------|----------------|--------|---|
| 今年度導入予定 | | 既に導入済み | ○ |
| 介護記録ソフトの製品名 | ワイズマンIDCシステム一式 | | |

⑤従前の介護職員等の人員体制

日勤帯5名、夜勤帯2名

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

日勤帯4名、夜勤帯2名

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

- ・日々状況が変化する入居者様の情報をタブレット端末で確認できることから、最新の情報が職員間で共有でき、仕事を効率的に進めることが出来る。日勤帯の勤務者削減に繋げる。
- ・見守り機器にてタブレット端末等で複数人のリアルタイムな状態を表示できることから、入居者様の生活状態が把握でき、必要時の訪室と夜間帯の巡視タイミングを感知でき、巡視時の入居者様、夜勤者双方の負担軽減を図る。
- ・入居者様の状態に合わせたセンサー設定が可能のため、起き上がり時、離床時等を適切なタイミングでタブレット端末に発報し確認できることから、転倒及び転落事故防止を図る。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・見守り機器にてタブレット端末で複数人のリアルタイムな状態を把握できることにより、不必要な訪室を軽減できるため、入居者様と個別に関わる時間を増やせ、コミュニケーションを取ることでケアと生活の質を向上する。
- ・見守り機器により転倒転落を防止、察知できることから、見守りに関する負担が軽減され、介護職員が安心して業務等に従事することができ、身体的、精神的負担の軽減を図る。また、業務軽減により、介護職員の離職を防止する。

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人知多学園)
 介護事業所名 (特別養護老人ホーム輪地がるてん)
 介護保険事業所番号 (2394600031)
 サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設)

| | | |
|-----------|------------------|-----------------------|
| 見守り機器について | ①見守り機器の導入 (予定) 日 | 2023年2月 |
| | ②介護ロボットの製品名 | J-PAS フレアリー 見守りライフ |

| 通信環境整備時期 (予定) | インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数 | 購入日 (予定) | リースの契約期間 (予定) |
|---------------|---------------------------|----------|---------------|
| 2023年1月 | wi-fi用LAN工事 アクセスポイント増設 | 2023年1月 | |

(1) 事業概要及び整備スケジュール

アクセスポイントを増設する。各ユニットの居室内までカバーできるようになる。

【スケジュール】

- 10月 wi-fi用LAN工事を行う業者と契約
- 12月 アクセスポイント購入、法人本部総務課・設備担当による設置
- 11月 LAN工事

(2) 通信環境整備により達成すべき目標 (導入後3年間)

施設内全ての場所で無線通信が可能になり、維持される。

(3) 通信環境整備により期待される効果等

施設内全ての場所で無線通信が可能になることで、居室内で使用する『見守りライフ』を効果的・安定的に活用することができる。

(4)適用を受けようとする補助率

3/4

(5) 補助率の 3 / 4 の要件の確認

※補助率 3 / 4 の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

○

②見守りセンサーについて

| | | | |
|-------------|--------|--------|--|
| 今年度導入予定 | ○ | 既に導入済み | |
| 見守りセンサーの製品名 | 見守りライフ | | |

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

| | | | |
|-----------|-----------|--------|---|
| 今年度導入予定 | ○ | 既に導入済み | ○ |
| ICT機器の製品名 | iPad mini | | |

④介護記録ソフトについて

| | | | |
|-------------|-------|--------|---|
| 今年度導入予定 | | 既に導入済み | ○ |
| 介護記録ソフトの製品名 | ケアカルテ | | |

⑤従前の介護職員等の人員体制

常勤介護職員13名、非常勤介護職員7名、常勤換算17.6名

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

常勤介護職員12名、非常勤介護職員5名、常勤換算14.7名

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

【見守りセンサー】見守りライフによりナースコール＝訪室・対応の現状がナースコール＝端末やPCで状況を確認・必要に応じて訪室・対応となり介護職員の動線が短縮・適正化される。

【ICT】ナースコール→見守りライフ(iPAD)の確認により、訪室・対応が必要かどうかの判断が視覚的に可能となる。

【介護ソフト】実施したケアをすぐに記録することで施設内の他セクションと情報を共有することが可能となる。

初動・協働・共有をシステム化することで職員の負担を軽減しつつ人員の効率化が図れる。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

【ケアの質】施設内会議で介護ロボット等の使用状況を確認し、効果と課題を整理する。効果は各ユニットで周知し共有する。課題は、①職員個人に起因するものであればON-Job・off-Jobトレーニングを企画、②チーム・仕組みの課題であれば会議で検討し対策を講じる。③機器そのものに起因するものであれば、業者・メーカーに問い合わせ、改善依頼をする。

介護ロボットを使いこなせるよう上記の取り組みを行なうことで職員の負担軽減につながるものとする。

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人鳳寿会)
 介護事業所名 (特別養護老人ホームくるみ荘)
 介護保険事業所番号 (2376400046)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

| | | |
|-----------|------------------|---------|
| 見守り機器について | ①見守り機器の導入 (予定) 日 | 2023年1月 |
| | ②介護ロボットの製品名 | 眠りSCAN |

| 通信環境整備時期 (予定) | インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数 | 購入日 (予定) | リースの契約期間 (予定) |
|---------------|----------------------|----------|---------------|
| 2023年1月 | - | 2023年1月 | |

| |
|--|
| <p>(1) 事業概要及び整備スケジュール</p> <p>事業概要 導入予定の見守り支援システム「眠りSCAN」をデモで試したところ、電波が弱く使用不可の為Wifi工事が必要となる。</p> <p>整備スケジュール 補助金交付決定後、速やかに導入する。(令和4年度 1月導入予定)</p> |
| <p>(2) 通信環境整備により達成すべき目標 (導入後3年間)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「眠りSCAN」活用により、居室内での転倒事故件数を削減させる。(数値目標: 20%削減) リアルタイムモニターにて入居者様の状況を把握することにより、夜勤所億院の負担を軽減させる。(数値目標: 巡視10回→5回、見守り業務50%削減) |
| <p>(3) 通信環境整備により期待される効果等</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の睡眠状況に合わせた個別ケアの実現。 利用者のQOLの向上。 職員の精神的・身体的な負担の軽減。 |
| <p>(4) 適用を受けようとする補助率</p> |

(5) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

②見守りセンサーについて

| | | | |
|-------------|--|--------|--|
| 今年度導入予定 | | 既に導入済み | |
| 見守りセンサーの製品名 | | | |

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

| | | | |
|-----------|--|--------|--|
| 今年度導入予定 | | 既に導入済み | |
| ICT機器の製品名 | | | |

④介護記録ソフトについて

| | | | |
|-------------|--|--------|--|
| 今年度導入予定 | | 既に導入済み | |
| 介護記録ソフトの製品名 | | | |

⑤従前の介護職員等の人員体制

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人 高坂福祉会)
 介護事業所名 (特別養護老人ホーム 高坂苑)
 介護保険事業所番号 (2371600137)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

| | | |
|-----------|------------------|---------------------------------|
| 見守り機器について | ①見守り機器の導入 (予定) 日 | 令和5年2月1日 |
| | ②介護ロボットの製品名 | パラマウントベッド株式会社 眠りSCAN NN-1520 |

| 通信環境整備時期 (予定) | インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数 | 購入日 (予定) | リースの契約期間 (予定) |
|---------------|----------------------|-----------|---------------|
| 令和5年1月25日 | | 令和5年1月10日 | |

(1) 事業概要及び整備スケジュール

★事業概要
 ご利用者様の快適な睡眠と夜勤スタッフの業務負担の大幅な軽減を目的として導入するロボット機器 (眠りSCAN) を正常かつ安定的に運用するために必要な通信環境の構築と再整備。

★スケジュール
 補助金交付決定後、速やかに導入する。

(2) 通信環境整備により達成すべき目標 (導入後3年間)

適切な通信環境を整備することで見守り機器が長期にわたり安定的に運用できるようになることで、①見守り業務の効率化によるスタッフの心身の負担が軽減される。②介護ソフトとの連携機能による睡眠に関する記録を大幅に削減し、スタッフの時間外労働を縮小する。③睡眠時にける健康状態可視化することで、スタッフの夜勤業務に対する不安を減少させる。④ご利用者様の体調変化を早期に発見・対応することで入院者を減らす。⑤ご利用者様の睡眠時の体調もご家族様と共有することで、より良好な協力関係の構築。⑥ご利用者様の安心感と満足度の向上等を目標とします。

(3) 通信環境整備により期待される効果等

見守り機器のみならず、通信連携したICT機器 (インカム、記録用タブレット) や介護記録ソフトが安定的に運用できることで、業務効率が格段に向上し、ご利用者様へよりタイムリーかつ個別的なサービス提供が可能となるので、顧客満足度の向上とスタッフひとり一人の生産性の向上が期待できる。また、業務効率の向上は様々な場面においてスタッフの精神的なゆとりにも繋がることから、ストレスを感じにくい職場環境への改善も期待できる。

(4) 適用を受けようとする補助率

3/4

(5) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にする。

| | |
|---|---|
| <p>①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。</p> | ○ |
|---|---|

②見守りセンサーについて

| | | | |
|-------------|-------------------------------|--------|--|
| 今年度導入予定 | ○ | 既に導入済み | |
| 見守りセンサーの製品名 | 眠りSCAN NN-1520（パラマウントベッド株式会社） | | |

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

| | | | |
|-----------|----------------------------|--------|---|
| 今年度導入予定 | | 既に導入済み | ○ |
| ICT機器の製品名 | 無線LANインカム IP100H（アイコム株式会社） | | |

④介護記録ソフトについて

| | | | |
|-------------|-----------------------------|--------|---|
| 今年度導入予定 | | 既に導入済み | ○ |
| 介護記録ソフトの製品名 | 介護記録ソフト SmileOne（株式会社プラスワン） | | |

| | |
|----------------|-------------------------------|
| ⑤従前の介護職員等の人員体制 | 人員配置が常勤換算2.57：1、夜勤者の最長仮眠時間1時間 |
|----------------|-------------------------------|

| | |
|----------------------------|-------------------------------|
| ⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制 | 人員配置が常勤換算2.66：1、夜勤者の最長仮眠時間2時間 |
|----------------------------|-------------------------------|

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

見守りセンサーにより可視化された身体状態を分析することで、①スタッフによるバイタル測定をより限定化し、不必要な安否確認の削減する。②介護記録ソフトとの連携機能活用により睡眠時の記録を電子化し、記録業務に係る時間を短縮する。③インカム活用によるスタッフ間でのシームレスな情報共有で巡視業務の効率化と個別ケアの充実を図る。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

★ご利用者様のケアの質の向上のために、①睡眠を妨げとなる定時の訪室を廃止する。②最も近くにいるスタッフがタイムリーに対応する。③健康維持・管理のため、医療職・医療機関と睡眠時のデータも共有し、早期対応に努める。④ご家族様とも情報共有し、ケアチームとして一緒に事故やトラブルの防止と努める。
 ★スタッフの休憩時間の確保と負担軽減等のために、①身体的負担となる定時の巡視範囲を限定的にする。②睡眠時の記録を連携機能による自動転記とし、記録業務を削減する。③睡眠リズムを分析し、個別に排泄ケアをも直す。④睡眠時のデータもカンファレンスで情報共有し、ケアに活用する。⑤データを分析し、医療機関への受診の目安を個別に作成する。

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

| | |
|---------------|------------|
| 法人名 () | 医療法人 桂名会 |
| 介護事業所名 () | 名東老人保健施設 |
| 介護保険事業所番号 () | 2351580002 |
| サービス種別 () | 介護老人保健施設 |

| | | |
|-----------|------------------|---------|
| 見守り機器について | ①見守り機器の導入 (予定) 日 | 2023年2月 |
| | ②介護ロボットの製品名 | 眠りSCAN |

| 通信環境整備時期 (予定) | インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数 | 購入日 (予定) | リースの契約期間 (予定) |
|---------------|----------------------|----------|---------------|
| 2023年2月 | | 2023年1月 | |

(1) 事業概要及び整備スケジュール

事業概要

WiFi環境を整備し、見守り支援システム「眠りSCAN」を使用することにより、利用者様の情報（睡眠・覚醒・起き上がり・離床・呼吸数・心拍数）をリアルタイムで可視化し、業務の効率化・介護従事者の負担を軽減する。また、状況に合わせてのケアを行うことにより、利用者様に提供するケアの質の向上を図る。

導入スケジュール

補助金交付決定後、速やかに導入する。(2023年 2月導入予定)

(2) 通信環境整備により達成すべき目標 (導入後3年間)

WiFi環境を整備することにより、眠りSCANを使用することができ、下記項目を目標とする。

- ・リアルタイムに可視化される利用者様の睡眠状況に合わせ、見回り業務、排泄のケアを行う。
- ・居室内での転倒事故件数を削減させる。(数値目標: 10%削減)
- ・リアルタイムモニターにて入居者様の状況を把握することにより、夜勤職員の負担を軽減をさせる。(数値目標: 見守り等20%削減)

(3) 通信環境整備により期待される効果等

WiFi環境を整備することにより、眠りSCANを使用することができ、下記効果を期待する。

- ・利用者の睡眠状況に合わせた個別ケアの実現。
- ・利用者のQOLの向上。
- ・職員の精神的・身体的な負担の軽減。

(4) 適用を受けようとする補助率

3/4

(5) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

○

②見守りセンサーについて

今年度導入予定

○

既に導入済み

見守りセンサーの製品名

眠りSCAN

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定

既に導入済み

○

ICT機器の製品名

ティーピーアイ社 クリアトークカム（インカム）

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定

既に導入済み

○

介護記録ソフトの製品名

ワイズマンシステムSP ケア記録オプション

⑤従前の介護職員等の人員体制

利用者：看護師/介護職員=1.9：1

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

変更なし

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

・見守りセンサー「眠りSCAN」を使用し、利用者の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避ける。

・「眠りSCAN」の通知機能を活用し、職員が使用しているインカムに動きのあった利用の情報が入り、タイムリー且つ必要な際のみ職員が対応に動くことができるため、従来の「定時巡視」から「適宜巡視」に変えていき、効率化を推進する。

・眠りSCANのモニターを見ながら、タブレットにて介護記録を入力することにより、記録業務低減、安全な見守りにつなげる。

※決まった時間での巡視ではなく、利用者の状況に合わせて巡視を行う。

人員数は変更せず、余剰の時間に対応しきれなかった利用者の対応に時間を充てる等の人員体制の効率化を行い介護の質の向上につなげる。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

・見守りセンサー「眠りSCAN」を使用し、スマートフォンにて利用者の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避け、覚醒したタイミングに合わせて排泄ケアや訪室を行うことにより、利用者の睡眠時間を確保する。

・スタッフルームや休憩室にいる間も、PC、タブレット端末、インカムにて、リアルタイムの各利用者の情報を確認することができるため、休憩時間の確保につなげる。

・巡視の方法を変更することにより、訪室回数を減らし休憩時間の確保につなげる。

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (特定非営利活動法人かくれんぼ)
 介護事業所名 (グループホームかくれんぼ)
 介護保険事業所番号 (2390300065)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

| | | |
|-----------|------------------|-------------------|
| 見守り機器について | ①見守り機器の導入 (予定) 日 | 令和4年12月 |
| | ②介護ロボットの製品名 | 見守り支援システム「眠りスキャン」 |

| 通信環境整備時期 (予定) | インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数 | 購入日 (予定) | リースの契約期間 (予定) |
|---------------|----------------------|----------|---------------|
| 令和4年12月 | | 令和4年12月 | |

(1) 事業概要及び整備スケジュール

【事業概要】
 見守り支援システム「眠りSCAN/眠りSCANeye」を使用することにより、利用者様の情報（睡眠・覚醒・起き上がり・離床・呼吸数・心拍数）をリアルタイムで可視化し、業務の効率化・介護従事者の負担を軽減する。また、状況に合わせてケアを行うことにより、利用者様に提供するケアの質の向上を図る。
 【導入スケジュール】
 令和4年9月 申請
 交付決定通知後、速やかに発注。
 令和4年12月 導入予定。

(2) 通信環境整備により達成すべき目標 (導入後3年間)

ご利用者様の情報（睡眠・覚醒・起き上がり・離床・呼吸数・心拍数）をリアルタイムで把握・可視化することで、状況にあわせたタイムリーな個別ケアを実現させる。可視化により夜勤の定期巡回の無駄を省くことで、介護職員のストレス軽減と安心感を向上させる。

(3) 通信環境整備により期待される効果等

・通信環境を整備することより眠りSCANを全室に導入し、詳細なデータによる個別ケアの推進とケアの質の向上を図る。また、場所を選ばずご利用者様の状況をPCにて確認することができるため、リアルタイムで状況を把握し、ご利用者様の健康管理や事故防止、職員の巡視の負担軽減が図れるようになる。
 ・今後、通信システムを活用した機器やアプリに対して、柔軟に導入可能かどうか検討しやすい環境を作ることができる。

(5) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

◎

②見守りセンサーについて

| | | | |
|-------------|-------------------|--------|--|
| 今年度導入予定 | ◎ | 既に導入済み | |
| 見守りセンサーの製品名 | 見守り支援システム「眠りスキャン」 | | |

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

| | | | |
|-----------|-------|--------|---|
| 今年度導入予定 | | 既に導入済み | ○ |
| ICT機器の製品名 | i pad | | |

④介護記録ソフトについて

| | | | |
|-------------|--------------|--------|--|
| 今年度導入予定 | ◎ | 既に導入済み | |
| 介護記録ソフトの製品名 | ほのほのNEXTクラウド | | |

⑤従前の介護職員等の人員体制

9人に対して一人の夜勤者

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

夜勤帯の可視化によりエビデンスに基づく新人指導を実施できるため、理解しやすくなり指導時間の軽減に繋がる。

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

眠りスキャン（見守りセンサー）とICT機器（i pad）を活用することで、ベッド上の動作を映像で確認したり、睡眠時の状態の把握が可能になるため、緊急時の的確な判断やターミナルケア時の適切なタイミングでのかかわりや対応ができる。また、夜間帯の定期巡回の無駄を省き介護職員の負担軽減に繋げる。
さらに眠りスキャンで入手したデータを介護記録に入力、活用して、利用者生活リズムを把握し、個別ケアの質の向上と生産性向上に取り組みます。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

ご利用者様のケアの質を向上させる取組みとして、一人ひとりの睡眠状況をデータ化しレポートを作成する。情報をご家族やケアマネージャー、介護従事者と共有し睡眠導入剤の投薬効果の検証に役立てる。また、夜勤者の負担軽減のため居室で過ごすご利用者様の状態を見える化することで、巡視の回数を減らす。

実施要綱別紙1 (通信環境整備用)

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人 あぐりす実の会)
 介護事業所名 (特別養護老人ホーム 大地の丘)
 介護保険事業所番号 (2375701139)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

| | | |
|-----------|------------------|-------------------|
| 見守り機器について | ①見守り機器の導入 (予定) 日 | 令和5年2月28日 |
| | ②介護ロボットの製品名 | Neos+Care (ネオスケア) |

| 通信環境整備時期 (予定) | インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数 | 購入日 (予定) | リースの契約期間 (予定) |
|---------------|----------------------|-----------|---------------|
| 令和5年2月28日 | (アクセスポイント増設) 10台 | 令和5年2月28日 | |

(1) 事業概要及び整備スケジュール

事業概要

令和元年度、令和2年度で、見守りカメラを18台導入したが、今回、さらに5台の導入をするにあたり、機器を設置するエリアの通信環境を整備するため、本事業を実施する。

整備スケジュール

当該補助金の交付決定後、速やかに着手する。令和5年2月末までに工事完了予定。

(2) 導入する意義・目的

「Neos+Care」の導入により、入居者の生活状況の把握を通じて、介護業務の向上と介護における職員の負担軽減を図る。この目的の実現のため通信環境の整備を行う。

(3) 通信環境整備により期待される効果等

「Neos+Care」が、効率的に運用できる環境が整備され、見守り介護の業務がさらに効率化される。

(4) 適用を受けようとする補助率

3/4

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

| | | | | |
|---|--|--------|--|---|
| ①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。 | | | | ○ |
| ②見守りセンサーについて | | | | |
| 今年度導入予定 | | 既に導入済み | | ○ |
| 見守りセンサーの製品名 | ネオスケア | | | |
| ③インカム・スマートフォン等のICT機器について | | | | |
| 今年度導入予定 | | 既に導入済み | | ○ |
| ICT機器の製品名 | スマートフォン・アイパッド | | | |
| ④介護記録ソフトについて | | | | |
| 今年度導入予定 | | 既に導入済み | | ○ |
| 介護記録ソフトの製品名 | ほのぼのNEXT | | | |
| ⑤従前の介護職員等の人員体制 | 特養大地の丘 職員(パート含む) 92人(8/1現在) 人員基準以上でありながらも、介護の重度化対応に苦慮しており、結果として要員の余裕はなし | | | |
| ⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制 | 特養大地の丘 職員(パート含む) 90~92人 介護職員の負担軽減となるが、従前の人員体制を維持することで、さらなる重度化へ対応 | | | |
| ⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容 | | | | |
| <p>NeostCareは特養に令和元年、令和2年に導入しており、今回は、入居者の重度化を背景とした現場要望による更なる機器の増設である。機器導入による見守りのため居室に行く機会が減った実績もあり、職員の労務的・精神的負担軽減に繋がるとともに、入居者個々の行動パターンが職種間（介護職員・看護師・栄養士・相談員）共有できた。その結果、入居者居室のドアの開閉数が減り、入居者の質の高い睡眠と介護支援を確保することが実現できた。また、介護記録ソフトは導入済みで、タブレット端末等によるデータ入力が進み、法人全体のデータ化、ペーパーレス化が進んだ。LIFEへの報告も円滑に進めることができた。</p> | | | | |
| ⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組 | | | | |
| <p>入居者の詳細な行動パターンの職種間（介護職員・看護師・栄養士・相談員）情報共有により、食事（趣向と栄養のバランス調整等）、排泄（排泄量・タイミングの把握等）、睡眠（オムツの選定等）など入居者の更なるケアの質向上に向け検討する余裕ができ改善に繋がるとともに、直接介助にかかる職員の身体的・精神的負担の軽減にもつながった。</p> <p>これにより、職員の労働時間の短縮、休憩時間の確保をさらに進める。</p> | | | | |

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (株式会社センチュリークリエイティブ)
 介護事業所名 (介護付有料老人ホームあみーご倶楽部 小牧)
 介護保険事業所番号 (2373802160)
 サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

| | | |
|-----------|------------------|------------|
| 見守り機器について | ①見守り機器の導入 (予定) 日 | 令和5年1月 |
| | ②介護ロボットの製品名 | aams.介護セット |

| 通信環境整備時期 (予定) | インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数 | 購入日 (予定) | リースの契約期間 (予定) |
|---------------|----------------------|----------|---------------|
| 令和4年12月 | | 令和4年12月 | |

(1) 事業概要及び整備スケジュール

事業概要…aams・介護セット導入によるwifi環境の整備

整備スケジュール…令和4年9月申請
 令和5年1月導入予定
 交付決定後、直ちに工事の発注 同時にaams・介護セットの発注

(2) 通信環境整備により達成すべき目標 (導入後3年間)

- ・wifi環境を整備し、aams・介護セット導入により、職員の労務負担軽減を目標とする。
- また、利用者様の危険動作の予兆を検知することにより、転落転倒事故のリスクの軽減を図る。

(3) 通信環境整備により期待される効果等

- wifi環境の整備によりaams・介護セット導入し、下記効果を期待される。
- ・危険動作の予兆を察知し、転倒事故のリスク軽減ができる。
 - ・利用者様の睡眠状況の把握により、安眠の確保がされる。
 - ・介護職員の労務負担軽減により、職場環境が改善される。

(4)適用を受けようとする補助率

3/4

(5) 補助率の 3 / 4 の要件の確認

※補助率 3 / 4 の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

| | | | | |
|---|---------------------|--------|---|---|
| ①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。 | | | | ○ |
| ②見守りセンサーについて | | | | |
| 今年度導入予定 | ○ | 既に導入済み | × | |
| 見守りセンサーの製品名 | aams. 介護セット | | | |
| ③インカム・スマートフォン等のICT機器について | | | | |
| 今年度導入予定 | × | 既に導入済み | ○ | |
| ICT機器の製品名 | Apple iPad | | | |
| ④介護記録ソフトについて | | | | |
| 今年度導入予定 | × | 既に導入済み | ○ | |
| 介護記録ソフトの製品名 | ワイズマン | | | |
| ⑤従前の介護職員等の人員体制 | 利用者人数:30人 日中職員数:13人 | | | |
| ⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制 | 利用者人数:30人 日中職員数:12人 | | | |
| ⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容 | | | | |
| 見守りセンサー導入により、転倒等の事故が起こった場合、即座にスタッフ間の情報共有を図り、記録業務へつなげることができる。 スムーズな対応により、職員の負担軽減へつなげ、業務効率化を図る。 職員の業務軽減により、質の高いサービス提供を図る。 | | | | |
| ⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組 | | | | |

利用者様の体調の変化を即座に察知、スタッフ間の迅速な情報共有により、質の高いサービスを提供することができる。

早朝、夜間等の人員配置が減少する場合においても、リスク管理に対する職員の精神的、身体的ストレスの軽減、休憩時間の確保等安心して業務に当たれる職場環境の整備の実現を図る。

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人 清洞会)
 介護事業所名 (特別養護老人ホーム レスバート落合)
 介護保険事業所番号 (2370302842)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

| | | |
|-----------|------------------|---------------------|
| 見守り機器について | ①見守り機器の導入 (予定) 日 | 令和5年1月末日 (介護ロボット) |
| | ②介護ロボットの製品名 | 眠りSCAN (パラマウントベッド㈱) |

| 通信環境整備時期 (予定) | インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数 | 購入日 (予定) | リースの契約期間 (予定) |
|---------------|--|-----------|---------------|
| 令和5年2月 | インカム: クリアトークカム (パラマウントベッド㈱) 25台 介護記録ソフト: CarePalette (INDソフトウェア㈱) 11台 | 令和4年11月末日 | |

(1) 事業概要及び整備スケジュール

〈事業概要〉

PHSで職員同士が一对一で連絡をしており、ユニット管理者から職員への呼びかけや指示に時間がかかり、管理者への負担も大きい。現在、全職員への一斉連絡の仕組みが無く、利用者に対する迅速なケアが出来ていないためインカムの導入により改善したい。また、「介護ロボット導入計画書」で眠りSCAN (パラマウントベッド㈱) を申請しており、インカムと眠りSCANを連動できるWiFi環境を整備したい。

〈スケジュール〉

令和4年11月中旬 (交付決定後) に購入。約2~3ヵ月で納入・令和5年2月末頃運用開始。

(2) 通信環境整備により達成すべき目標 (導入後3年間)

インカムにより職員の連絡・連携体制の強化。

眠りSCANによる利用者の異常を検知しインカムを通じて職員に通知する。

眠りSCAN 98台とデジタルインカム 25台を接続する無線環境の構築と連動設定の活用。

(3) 通信環境整備により期待される効果等

現状のWiFi通信は居室全体の隅々まで電波が届いていません。眠りSCANの運用には全室十分なWiFi通信が必須となる事から、本申請によるWiFi環境整備により、眠りSCANとインカムの運用環境を整える。

インカムの導入により全職員一斉連絡が容易になり、リアルタイムに状況が伝わるため、スタッフ同士の連携が図れる。また、スタッフ間の迅速な情報共有により利用者のケガや事故の防止にもつながり、質の高いサービス提供が見込まれる。

(4) 適用を受けようとする補助率

3/4

(5) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

| | |
|--|---|
| ①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。 | ○ |
|--|---|

②見守りセンサーについて

| | | | |
|-------------|--------------------|--------|--|
| 今年度導入予定 | ○ | 既に導入済み | |
| 見守りセンサーの製品名 | 眠りSCAN(パラマウントベッド株) | | |

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

| | | | |
|-----------|--------------------|--------|--|
| 今年度導入予定 | ○ | 既に導入済み | |
| ICT機器の製品名 | クリアトークカム(株ティービーアイ) | | |

④介護記録ソフトについて

| | | | |
|-------------|---------------------------------|--------|---|
| 今年度導入予定 | | 既に導入済み | ○ |
| 介護記録ソフトの製品名 | ほのほのNEXT、CarePalette(NDソフトウェア株) | | |

⑤従前の介護職員等の人員体制

2.3 : 1

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

2.8 : 1

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

- ・緊急時の応援体制が取れるようになるため、加配が不要となる。
- ・施設内の職員同士が連携を図れるようになるため、夜間の職員の見守り人員配置の削減が見込まれる。
- ・申し送りに係る人員配置を1割程度削減できる。
- ・ナースコールの対応だけでなく、離床に関する対応時間が短縮でき、ケアの質向上に目を向ける事が可能となる。
- ・エリア、ユニット毎の呼びかけにより職員が効率良くケア、サービス提供が可能となる。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・見守り機器からの通信情報がスムーズに職員に届くことで、利用者の転倒・転落など事故が発生する前に、インカムでリアルタイムに呼びかけ、迅速なケアが可能となる。
- ・記録業務の時間帯を見直す事で、残業時間を施設平均30分程度短縮する。
- ・眠りSCANが判別する情報から、夜間の職員が安心して休憩時間を確保でき、精神的な負担の軽減が見込まれる。
- ・緊急時にインカムによる一斉連絡を活用する事で、ユニットから安心して離れる事が可能となり休憩時間を確保する。
- ・利用者のナースコールに対しインカムを使って職員同士が連携し対応する。

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人 八起社)
 介護事業所名 (特別養護老人ホーム東和荘)
 介護保険事業所番号 (2375700180)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

| | | |
|-----------|----------------|-------------|
| 見守り機器について | ①見守り機器の導入(予定)日 | 令和4年12月31日 |
| | ②介護ロボットの製品名 | 眠りSCAN・インカム |

| 通信環境整備時期(予定) | インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数 | 購入日(予定) | リースの契約期間(予定) |
|--------------|----------------------|------------|--------------|
| 令和4年12月31日 | 15台 | 令和4年12月31日 | |

(1)事業概要及び整備スケジュール

【事業概要】眠りSCAN、インカム及び通信環境の整備をし、入所者の体調管理向上、職員のコミュニケーション向上を図り、効率化、業務負担軽減をするもの。また、情報共有やケアへの協力要請にも活用でき、転倒転落予防にも貢献するもの。
 【導入スケジュール】
 令和4年10月 機器設置事前調査
 令和4年12月 通信環境工事及び使用説明
 令和4年12月末 使用開始
 適宜、機器使用方法のフォローアップ説明会を実施

(2)通信環境整備により達成すべき目標(導入後3年間)

- ①眠りSCANを活用した体調管理を定着し、業務への負担軽減を図る。
- ②インカムを活用し、業務効率化を図り、介護業務の負担軽減を図る。
- ③業務負担を軽減することで、休憩時間の確保、入所者の処遇向上に資するもの。

(3)通信環境整備により期待される効果等

- ①眠りSCANを活用し、業務中の心理的負担軽減。
- ②インカムを活用し、介護職員の身体的・心理的負担軽減。
- ③業務負担を軽減することで、休憩時間の確保、入所者の処遇向上。
- ④新しい見守り機器の導入に活用が期待できるもの。

(4)適用を受けようとする補助率

3/4

(5) 補助率の3/4の要件の確認

- ※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
- ※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

| | |
|--|---|
| ①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。 | ○ |
|--|---|

②見守りセンサーについて

| | | | |
|-------------|-----------------|--------|---|
| 今年度導入予定 | ○ | 既に導入済み | × |
| 見守りセンサーの製品名 | 見守りSCAN NN-1520 | | |

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

| | | | |
|-----------|----------------------|--------|---|
| 今年度導入予定 | ○ | 既に導入済み | × |
| ICT機器の製品名 | インカム ティービーアイ KX-Z837 | | |

④介護記録ソフトについて

| | | | |
|-------------|--------------|--------|---|
| 今年度導入予定 | × | 既に導入済み | ○ |
| 介護記録ソフトの製品名 | 東経システム 福祉見聞録 | | |

⑤従前の介護職員等の人員体制

管理者1名（常勤）医師3名（非常勤）生活相談員2名（常勤）看護職員5.7名（常勤換算）介護職員33.1名（常勤換算）管理栄養士2名（常勤）機能訓練指導員1名（常勤兼務）介護支援専門員1名（兼務）事務員2名（常勤）調理員6.1名（常勤換算）運転手兼補助員2名（非常勤）
 ※特養80名分及び短期16名分

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

上記に同じ

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

眠りSCANは、体調不良者の見守りターミナルケアに活用。インカムは従来型の施設であるため、広い施設内での職員間のコミュニケーション等に活用し、人探し、物探しに使用する時間を短縮、短縮した時間を職員の休憩時間や、入所者のケアに充てる。また、ケア中の人探し、物探しは転倒転落のリスクにも繋がるため、転倒転落予防の効果も期待するもの。介護ソフトである福祉見聞録は介護ケア記録・看護ケア記録を管理し、全職員が何時でも確認出来るように設置してある。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

広い施設内を各職員がコミュニケーション及び情報共有し、ケアに当たるのは困難である。そのためのケア記録を電子化し、情報共有をするシステム作りは、長期間実施しており、定着している。個別に体調管理できる機器を導入することで、情報共有がより密になる。広い施設内をカバーするために、コミュニケーション機器導入することで、移動時間等を短縮。職員の人探し、物探しに係る時間を削減し、ケアや休憩時間に充てるもの。介護事故防止の検討の中で、ケア中の転倒転落を予防が必須と判断、インカムの活用で協力要請等で未然に防げれば、事後報告等に不随する時間も短縮できる。

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (愛知メディカルサービス株式会社)
 介護事業所名 (ソレイユ千種)
 介護保険事業所番号 (2370101368)
 サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

| | | |
|-----------|------------------|-----------------|
| 見守り機器について | ①見守り機器の導入 (予定) 日 | 2023年2月 |
| | ②介護ロボットの製品名 | みまもりベッドセンサーシステム |

| 通信環境整備時期 (予定) | インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数 | 購入日 (予定) | リースの契約期間 (予定) |
|---------------|----------------------|----------|---------------|
| 2023年1月 | 1 | 2023年1月 | 3年 |

(1) 事業概要及び整備スケジュール

・みまもりベッドセンサーシステム稼働の為の無線LAN環境を整備
 11月下旬 内示発表
 12月 契約
 1月 無線LAN工事実施
 2月 みまもりベッドセンサー設置・稼働

(2) 通信環境整備により達成すべき目標 (導入後3年間)

・無線LAN環境を活用し、介護記録ソフトを導入検討しており、タブレット端末等を使いながら記録業務にかかる労力の削減。
 ・インカムを導入検討しており、館内の職員同士の情報共有体制の実現。

(3) 通信環境整備により期待される効果等

・介護フロアの全域を無線LAN化することで、みまもりベッドセンサーを設置した利用者の体動や、ベッド上での情報を得ることが可能になる。集積したデータを活用して、より良いケアプランの作成が可能になる。
 ・現在、パソコン、タブレット端末を限定した場所で使用しているが、無線LAN化することで、場所に制約されることなく活用できる。
 ・コロナ禍の状況においても、それぞれの居室等にてオンライン面会を実現する事ができる。

(5) 適用を受けようとする補助率

3/4

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にする。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

○

②見守りセンサーについて

| | | |
|-------------|-----------------|--------|
| 今年度導入予定 | ○ | 既に導入済み |
| 見守りセンサーの製品名 | みまもりベッドセンサーシステム | |

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

| | | |
|-----------|------|--------|
| 今年度導入予定 | ○ | 既に導入済み |
| ICT機器の製品名 | iPad | |

④介護記録ソフトについて

| | | |
|-------------|-------|--------|
| 今年度導入予定 | ○ | 既に導入済み |
| 介護記録ソフトの製品名 | ワイズマン | |

⑤従前の介護職員等の人員体制

各フロア日勤帯は介護士2~4名に加え、機能訓練員、ケアマネージャー、看護師が介護のサポートを行っている。

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

当製品使用者の体重測定時間を削減する。介護職員の業務負担が減ること、他職種のスタッフが本来の業務に従事できる。

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

インカムについては以前より導入を検討をしており、他の施設の状況を情報収集している段階である。今回の申請でWi-Fiを構築するのでそれに合ったインカムを選定する事や、現在使用しているタブレット端末を当製品の入居者の状況把握をするモニターとして活用することで、離れた位置からも状況把握をすることを計画しており、介護現場の運用に基づいて人員配置の見直しを推し進める。また、当製品が連携できる介護ソフトメーカーもあるので、その面も鑑みて導入検討をしている。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

今回、いくつか見守り機器を選定、試用し当製品の申請に至った。試用状況としては、現場より遠隔で見守りが出来るので夜間の業務負担が減った。モニター確認できるため居室への訪室回数が減り利用者の不穏行動が減少した。このことであつた。本運用になれば対象も増えるので一定の効果はみられると感じている。当製品では夜間帯の行動履歴や体動呼吸がレポートとして残るので、状況を振り返ったり、傾向を掴むことでその人の今まで知らなかった情報を受け取ることができプランニングの材料になり、多面的なサービス提供に繋がると考えている。

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (特定非営利活動法人るんるん)
 介護事業所名 (グループホームもうやこ)
 介護保険事業所番号 (2392300188)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

| | | |
|-----------|------------------|-----------|
| 見守り機器について | ①見守り機器の導入 (予定) 日 | 令和5年1月31日 |
| | ②介護ロボットの製品名 | 眠り SCAN |

| 通信環境整備時期 (予定) | インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数 | 購入日 (予定) | リースの契約期間 (予定) |
|---------------|----------------------|-----------|---------------|
| 令和5年1月31日 | | 令和5年1月31日 | |

(1) 事業概要及び整備スケジュール

利用者様の情報 (睡眠、覚醒、起き上がり、離床、呼吸数、心拍数) をリアルタイムで可視化し、業務の効率化、介護従事者の負担を軽減する。また、状況に合わせてのケアを行うことにより、利用者様に提供するケアの質も向上を図る。

整備スケジュール

補助金交付決定後、速やかに導入する。(令和4年11月整備予定)

(3) 通信環境整備により期待される効果等

通信環境整備により、眠りSCANを運用することで下記効果を期待する。

- 利用者様の睡眠、呼吸、心拍状況の把握。
- 利用者様の睡眠状況に合わせた個別のケアの実現。
- 職員の精神的、身体的な負担の軽減。

(4) 適用を受けようとする補助率

1/2

| | |
|---|---|
| <p>①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。</p> | × |
|---|---|

②見守りセンサーについて

| | | | |
|--------------------|--|---------------|--|
| <p>今年度導入予定</p> | | <p>既に導入済み</p> | |
| <p>見守りセンサーの製品名</p> | | | |

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

| | | | |
|------------------|--|---------------|--|
| <p>今年度導入予定</p> | | <p>既に導入済み</p> | |
| <p>ICT機器の製品名</p> | | | |

④介護記録ソフトについて

| | | | |
|--------------------|--|---------------|--|
| <p>今年度導入予定</p> | | <p>既に導入済み</p> | |
| <p>介護記録ソフトの製品名</p> | | | |

⑤従前の介護職員等の人員体制

| | |
|-----------------------------------|--|
| <p>⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制</p> | |
|-----------------------------------|--|

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

| |
|--|
| |
|--|

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

| |
|--|
| |
|--|

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (杉友商事株式会社)
 介護事業所名 (グループホームふれんど)
 介護保険事業所番号 (2371600426)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

| | | |
|-----------|------------------|--------|
| 見守り機器について | ①見守り機器の導入 (予定) 日 | 3月1日 |
| | ②介護ロボットの製品名 | 眠りSCAN |

| 通信環境整備時期 (予定) | インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数 | 購入日 (予定) | リースの契約期間 (予定) |
|---------------|----------------------|----------|---------------|
| 2月1日 | | 12月1日 | |

(1) 事業概要及び整備スケジュール

<事業概要>
 通信環境を整備することにより、見守り支援システム「眠りSCAN」を運用する。
 利用者の状況をリアルタイムで確認することにより、入居者の見守り強化と介護職員の負担軽減を図る。

<スケジュール>
 交付決定後、令和4年12月1日購入契約を行い、3月1日導入に向け研修や説明会を実施すると共に速やかに整備工事を開始する。

(2) 通信環境整備により達成すべき目標 (導入後3年間)

- ・見守り業務を効率化することにより、介護職員の業務負担軽減を図る。
- ・ご入居者の状態 (離床、体動、睡眠など) や変化のモニタリングとデータを活用することで、転倒や転落などの事故発生リスクを軽減させる。

(3) 通信環境整備により期待される効果等

- ・利用者のベッドからの転落・転倒等の事故を減らすことができる。
- ・ご入居者の体動の状態や睡眠リズム等の把握により、睡眠を妨げることなく個別ケアの充実を図ることができる。
- ・介護職員の心理的、身体的負担を軽減できる。
- ・看取りの方への迅速な対応と職員の負担軽減ができる。

(4)適用を受けようとする補助率

1/2

(5) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にする事。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

②見守りセンサーについて

| | | | |
|-------------|--|--------|--|
| 今年度導入予定 | | 既に導入済み | |
| 見守りセンサーの製品名 | | | |

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

| | | | |
|-----------|--|--------|--|
| 今年度導入予定 | | 既に導入済み | |
| ICT機器の製品名 | | | |

④介護記録ソフトについて

| | | | |
|-------------|--|--------|--|
| 今年度導入予定 | | 既に導入済み | |
| 介護記録ソフトの製品名 | | | |

⑤従前の介護職員等の人員体制

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (株式会社マザーズ)
 介護事業所名 (グループホーム円順寺北館)
 介護保険事業所番号 (2370401446)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

| | | |
|-----------|------------------|-----------|
| 見守り機器について | ①見守り機器の導入 (予定) 日 | 令和4年12月1日 |
| | ②介護ロボットの製品名 | 眠りSCAN |

| 通信環境整備時期 (予定) | インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数 | 購入日 (予定) | リースの契約期間 (予定) |
|---------------|----------------------|-----------|---------------|
| 令和4年12月1日 | | 令和4年12月1日 | — |

(1) 事業概要及び整備スケジュール

見守り支援システム「眠りSCAN」を使用することにより、利用者様の情報（睡眠・覚醒・起き上がり・離床・呼吸数・心拍数）をリアルタイムで可視化し、業務の効率化・介護従事者の負担を軽減する。また、状況に合わせてのケアを行うことにより、利用者様に提供するケアの質の向上を図る。

(2) 通信環境整備により達成すべき目標（導入後3年間）

- リアルタイムに可視化される利用者様の睡眠状況に合わせ、ケアを行う。
- 利用者様の夜間の睡眠を妨げないよう介護を提供する。
- リアルタイムモニターにて入居者様の状況を把握することにより、夜勤職員の負担を軽減させる。

(3) 通信環境整備により期待される効果等

通信環境整備をすることにより、眠りSCANが全居室にて使用が可能となることで、下記効果が期待される。

- 利用者様の睡眠・呼吸・心拍状況の把握。
- 利用者様の睡眠状況に合わせた個別ケアの実現。
- 職員の精神的・身体的な負担の軽減。

(4) 適用を受けようとする補助率

3/4

(5) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

②見守りセンサーについて

| | | | |
|-------------|--------|--|--|
| 今年度導入予定 | ○ | | |
| 見守りセンサーの製品名 | 眠りSCAN | | |

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

| | | | |
|-----------|------|--------|--|
| 今年度導入予定 | ○ | 既に導入済み | |
| ICT機器の製品名 | Ipad | | |

④介護記録ソフトについて

| | | | |
|-------------|----------|--------|--|
| 今年度導入予定 | ○ | 既に導入済み | |
| 介護記録ソフトの製品名 | ほのほのNEXT | | |

⑤従前の介護職員等の人員体制

| | |
|---------------------------|----|
| 従前の介護職員等の人員体制 | 18 |
| 介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制 | 16 |

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

- ・見守りセンサー「眠りSCAN」を使用し、入居者様の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避ける。
- ・「眠りSCAN」の通知機能を活用し、夜勤者が携帯するスマートフォンに動きのあった入居者様の情報が入り、タイムリー且つ必要な際にのみ職員が対応に動くことができるため、従来の「定時巡視」から「適宜巡視」に変えていき、効率化を推進する。
- ※決まった時間での巡視ではなく、入居者様の状況に合わせて巡視を行う。余剰の時間に従来他勤務時間帯に行っていた業務を遂行し、人員体制の効率化を図る。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・見守りセンサー「眠りSCAN」を使用し、入居者様の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避ける。覚醒したタイミングに合わせて排泄ケアや訪室を行う。
- ・スタッフルームや休憩室にいる間も、PC、モバイル端末にて、リアルタイムの各入居者様の情報を確認する。
- ・巡視の方法を「定時巡視」→「適宜巡視」に変更する。
- ※決まった時間での巡視ではなく、入居者様の状況に合わせて巡視を行う。

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (医療法人豊田会)
 介護事業所名 (介護老人保健施設
ハビリスーツ木)
 介護保険事業所番号 (235298003)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

| | | |
|-----------|------------------|------------------------|
| 見守り機器について | ①見守り機器の導入 (予定) 日 | 令和4年9月 |
| | ②介護ロボットの製品名 | 眠りSCAN (ハラマウントベッド社) |

| 通信環境整備時期 (予定) | インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数 | 購入日 (予定) | リースの契約期間 (予定) |
|---------------|----------------------|----------|---------------|
| 令和5年1月 | — | 令和4年12月 | — |

(1) 事業概要及び整備スケジュール

事業概要
 通信環境を整備し、見守り機器「眠りSCAN」の利用範囲を拡大する。
 現在、「眠りSCAN」は、有線通信環境のある1フロア一部の部屋のみ利用が可能である。今後、通信環境が施設全体に整うことで、全フロアで「眠りSCAN」の利用が可能となる。これにより、施設全体の利用者の転倒・転落リスクを軽減できる。さらに、睡眠データから利用者の睡眠習慣を分析し、介護ケアの改善につながる。また、介護従事者の業務を効率化し、身体的・精神的負担が軽減される。

スケジュール
 令和4年12月：職員説明会 令和5年1月末：通信環境整備完了
 同時に眠りSCAN利用範囲の拡大、モバイル端末運用開始

(2) 通信環境整備により達成すべき目標 (導入後3年間)

通信環境整備し、見守り機器「眠りSCAN」の利用範囲を拡大することで、以下の目標掲げる。

- ① 就床後の転倒・転落件数を減らす。
- ② 介護従事者の負担軽減を図る。

①負担測定スケール：自覚症しらべ (日本産業衛生学会産業疲労研究会) を利用範囲拡大前後で比較
 夜勤者の歩数、巡回時間数、連続した休憩時間数を利用範囲拡大前後で測定

(3) 通信環境整備により期待される効果等

事務負担の軽減に関する効果

- ① 利用者の睡眠習慣のデータを用い、パソコン画面上で共有できるようになる。
 ・睡眠習慣についての介護記録記載の必要はなくなり、記録時間を削減できる。
- ② モバイル端末を利用できるようになる。
 ・介護記録をリアルタイムに記載でき、転記ミスがなくなる。記録時間を削減できる。

その他の効果

- ① 見守り機器「眠りSCAN」利用範囲の拡大により、利用者の状態 (睡眠・覚醒・起き上がり・呼吸数) を遠隔 (他フロアから) で確認できる。看護師は、看取りケアの利用者などの観察がしやすくなる。

(4) 適用を受けようとする補助率

3/4

(5) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

◎

②見守りセンサーについて

| | | | |
|-------------|--------------------|--------|---|
| 今年度導入予定 | × | 既に導入済み | ◎ |
| 見守りセンサーの製品名 | 眠りSCAN（パラマウントベッド社） | | |

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

| | | | |
|-----------|-------------|--------|---|
| 今年度導入予定 | ◎ | 既に導入済み | × |
| ICT機器の製品名 | iPhone iPad | | |

④介護記録ソフトについて

| | | | |
|-------------|-----------------------|--------|---|
| 今年度導入予定 | ◎ | 既に導入済み | × |
| 介護記録ソフトの製品名 | ワイスマン ケア記録オプション（介護老健） | | |

⑤従前の介護職員等の人員体制

全職種において、施設基準を満たす人員を配置している。管理職がマネジメント業務に専念できていない現状がある。

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

⑤と同等の人員配置で、施設全体の年休取得率60%以上、残業20%削減を目指す。管理職がマネジメント業務に専念する。

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

以下①～④を実施し、時間を確保することで、年休取得率60%以上および残業20%削減を目指す。また、管理職は、マネジメント業務を業務時間内に実施する。

- ①利用者の状態（睡眠・覚醒・起き上がり・呼吸数）を遠隔（他フロアから）で確認する。
- ②PHSをスマートフォンへ変更することにより、連絡および記録ツールとして活用する。
- ③介護ソフト活用により、記録定型文用いた記録の簡略化、利用者情報の転記削減、記録ファイル（紙）の準備・整理時間を削減する。
- ④情報の一元管理により、重複記録の削減、遠隔からの情報収集、情報共有を可能とする。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

利用者のケアの質向上取り組み

- ①利用者の排泄自立のために、睡眠習慣を把握し、個別的なケアを検討・実施する。
- ②利用者が、良質な睡眠を取るために、夜間の睡眠・離床状況を分析し、利用者個々に合った日中の過ごし方や就床・起床時間を検討・実施する。
- ③効率化により生まれた時間を利用し、勉強会(職員教育)を充実させる。

職員の負担軽減

- ①眠りSCANを活用し、職員の負担軽減を図る。
 - ・効率的な夜間巡回を実施し、連続した休憩時間を確保する。
 - ・夜間の転倒・転落を防ぎ、職員の精神的負担を軽減する。
- ②スマートフォンを用い、介護従事者間、多職種間の連携を図りやすくする。

実施要綱別紙2 (通信環境整備用)

見守り機器の導入に伴う通信環境整備変更計画書

法人名 (医療法人 香徳会)
 介護事業所名 (グループホームよつば)
 介護保険事業所番号 (2371501251)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

| | | |
|-----------|------------------|----------------|
| 見守り機器について | ①見守り機器の導入 (予定) 日 | 令和4年12月25日 |
| | ②介護ロボットの製品名 | 見守りセンサーANSIE L |

| 通信環境整備時期 (予定) | インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数 | 購入日 (予定) | リースの契約期間 (予定) |
|---------------|----------------------|------------|---------------|
| 令和4年12月20日 | | 令和4年12月20日 | |

| |
|---|
| <p>(1) 事業概要及び整備スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業概要 ネットワーク環境の構築により見守りセンサーをスマートフォンと連携させ、職員がどこにいてもスマートフォンにて入居者の予兆動作等の通知を受けることができるようになる。 ・スケジュール 補助金交付決定後、速やかに導入する。 |
| <p>(2) 通信環境整備により達成すべき目標 (導入後3年間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク環境を構築することにより、入居者の睡眠状況を把握し適切なタイミングで支援を行うことができ、安全で安心した環境で過ごすことができる。 ・職員の身体的、精神的負担軽減や業務効率の改善を図る。 |
| <p>(3) 通信環境整備により期待される効果等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、設置しているナースコールはPHS等への通知に対応していないため、ネットワーク環境を整え、見守りセンサーとスマートフォンを連携させることにより、入居者の予兆動作を早いタイミングで検知し、転倒・転落を未然に防ぐことができる。 ・現在、タブレット端末にて介護記録ソフト「ワイズマンすぐろくTabret」を使用しているが、ネットワーク環境が整っていないため事務所及び各棟食堂でしか使用できない。ネットワーク環境を構築することで全ての居室内で使用することが可能となり、作業効率の改善に繋がる。 |
| <p>(4) 適用を受けようとする補助率</p> |
| 3/4 |

(5) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

| | |
|--|---|
| ①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。 | ○ |
|--|---|

②見守りセンサーについて

| | | | |
|-------------|----------------|--------|---|
| 今年度導入予定 | ○ | 既に導入済み | × |
| 見守りセンサーの製品名 | 見守りセンサーANSIE L | | |

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

| | | | |
|-----------|------------|--------|---|
| 今年度導入予定 | ○ | 既に導入済み | × |
| ICT機器の製品名 | AQUOS wish | | |

④介護記録ソフトについて

| | | | |
|-------------|------------------|--------|---|
| 今年度導入予定 | ○ | 既に導入済み | ○ |
| 介護記録ソフトの製品名 | ワイズマン すぐろくTabret | | |

⑤従前の介護職員等の人員体制 3 : 1

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制 3 : 1

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

- ・ネットワーク環境を構築し、見守りセンサーをスマートフォンと連携することにより、夜間少ない人員体制でも効率よく見守り業務ができる。
- ・見守りセンサーを介護記録ソフトと連動することで転機等が不要となり業務効率が上がる。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・入居者の睡眠状況を把握することで、適切なタイミングで支援を行える。
- ・転倒、転落を未然に防ぐことで、安全で安心した生活を過ごすことができる。
- ・見守りセンサーを介護記録ソフトと連動することにより、業務効率改善に繋がる。
- ・業務効率が改善されることにより、職員の精神的、身体的な負担が軽減され、職場環境が改善できる。

実施要綱別紙1 (通信環境整備用)

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人 糖豆福祉会)
 介護事業所名 (特別養護老人ホームレジデンス守船)
 介護保険事業所番号 (2393200114)
 サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設)

| | | |
|-----------|------------------|------------------|
| 見守り機器について | ①見守り機器の導入 (予定) 日 | 令和5年2月 |
| | ②介護ロボットの製品名 | 眠りSCAN (NN-1520) |

| 通信環境整備時期 (予定) | インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数 | 購入日 (予定) | リースの契約期間 (予定) |
|---------------|----------------------|----------|---------------|
| 令和5年2月 | 17台 | 令和5年2月 | - |

(1) 事業概要及び整備スケジュール

現状：利用者の見守りのため、離床センサーマットを導入し、転倒予防に努めている。ただし、このシステムはピッチを持っている職員にしか知らせる事ができない。
 課題：ピッチを持っている職員が他の業務で手を離せない時に直ぐ対応できず転倒を防げない事例があった。そのような状況が職員に不安を与えてしまっており、特に新人職員は不安な状態での業務が辛いという。
 解決策：通信環境 (Wi-Fi) を整備し、インカムを活用することにより職員がすぐ連絡をとりあい、近くの職員が現場にすぐ向かい事故を未然に防ぐ。
 また、新たに眠りSCANも導入しベッドからの転落等も防ぐ。
 さらに、インカムで先輩職員に相談し指示を受け適切な対応をする。補助金交付決定後速やかに導入する。(令和5年2月整備予定)

(2) 通信環境整備により達成すべき目標 (導入後3年間)

- ・離床センサー (眠りSCAN) に対しての対応を早くする事により、利用者の居室内での転倒事故を減少させる。
- ・インカムで連絡を密にする事により職員の動線を短くし介護時間の効率化を図る。
- ・職員間でインカムでのコミュニケーションをとることで、職員の業務中の不安や負担が軽減させ、特に新人職員も安心して業務に就ける環境を整え離職予防をする。
- ・業務の効率化により介護員の専門分野に特化した業務に集中する。

(3) 通信環境整備により期待される効果等

・利用者の見守りは、配属しているユニット職員が1人に対応しなければいけないのが現状であるが、通信環境を整備し、インカムを活用することで、同じフロアーの職員が全員同じ情報を同時に得られ、一人の職員のみが過度な負担を与える事が無くなる。
 ・そのことにより、個々でなくチームでの介護ができより効率的に利用者に対してのサービスが提供できる。

(4) 適用を受けようとする補助率

3/4

(5) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

②見守りセンサーについて

| | | | |
|-------------|--------------------|--------|---|
| 今年度導入予定 | ◎ | 既に導入済み | × |
| 見守りセンサーの製品名 | （株）眠りSCAN（NN-1520） | | |

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

| | | | |
|-----------|---------------------------|--------|---|
| 今年度導入予定 | ◎ | 既に導入済み | × |
| ICT機器の製品名 | （株）ディービーアイ インカム（WFD1-TC3） | | |

④介護記録ソフトについて

| | | | |
|-------------|---------------------|--------|---|
| 今年度導入予定 | × | 既に導入済み | ◎ |
| 介護記録ソフトの製品名 | エーケービジネス（株）ケアポケットくん | | |

⑤従前の介護職員等の人員体制

2ユニット（協カユニット）の介護職員数
常勤7名（夜勤行方）、嘱託1名（8時間）、非常勤2～3名

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

2ユニット（協カユニット）の介護職員数
常勤6名（夜勤行方）、嘱託1名（8時間）、非常勤2～3名
※余った職員を介護リーダーとして自由に各フロアを行き来できる職員配置にしていきたい。

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

現状の課題（効率の悪さ）

- ・ 離床センサーや新たに購入する（眠りSCAN）が鳴った場合、ピッチを持っている職員と近くを通りがかった職員が同じ居室を訪室している。→近くを通りがかった職員が対応とのルールにする。
- ・ 利用者コールに対して、他の介助で手が離せない状況になっても応援を呼ぶことができず、一度その介助を中途半端な場面でやめ現場に向かっている。→その場合の応援システムをルールにする。
- ・ 新人職員などが迷ったり、あるいは指示を受けたい時に、わざわざ他の職員に応援を依頼してからその場を離れている。→インカム活用による相談指示とし職員の動線を短くする。無駄な動きはしない。
- ・ 記録入力の時間がとらずらく残業になってしまう。→しっかり応援体制を作り効率的な介護により、介護記録入力時間をとって職員の負担を軽減する等々業務の効率の悪さを改善する。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・ インカムと眠りSCANを活用し、すぐ他職員を呼ぶ事ができることで、2名での介助がやりやすくなるので利用者の転倒防止や安心感と職員の身体的負担を軽減させる。
- ・ 職員間のノートによる申し送り事項は手間と時間のロスがある。今起こった事をすぐさまインカムで報告し他職員（看護員、生活相談員、栄養士も含め）との情報共有を行いその時の適切な利用者へのケアを行う。
- ・ 上記のように業務を行いながらの情報共有による効率化を図り、会議等の時間短縮、休憩時間の確保を行う。可能であれば、職員の有給休暇取得日数を増やす。
- ・ 職員間の日頃のコミュニケーションを深め、お互いの意見などをインカムで話し合う事を習慣とし業務の効率化を図り残業をしない職場環境を目指す。
- ・ 1名介助でやっていたことを、互いに連絡をとりあうことにより2名で対応できないか検討し職員の腰痛予防に努める。
- ・ 逆に現在2名でやっている、記録業務等の周辺業務を1名で行う。